

# 夢の本棚

発行所：松居直コレクション  
プロジェクト  
代 表：金戸 美紀予  
事務局：石川県小松市  
小馬出町10-3  
空とこども絵本館  
☎ 0761-23-0033  
bookrin@city.komatsu.lg.jp

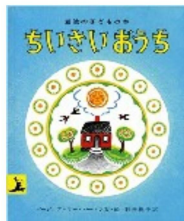


【活動方針】①絵本の楽しさを伝える〈親子読書の奨励〉②絵本の歴史を学び、進むべき方向を考える〈絵本文化の研究〉  
③市が所有する知的財産として、次世代に正しく伝える〈絵本文化の継承〉

## 外国の物語絵本

◆「こどものとも」を編集している頃から、私は外国の絵本を翻訳して出版しなければ、日本の絵本界ってというのは発展して行かないんじゃないかというふうに思うようになったんです。そして、外国の絵本でのが、日本の絵本にはとつても及ばないほど素晴らしいものがたくさんあるってことを感じるようになりました◆実は、「こどものとも」を一番最初に創刊した折、外国の絵本の本格的な物語絵本を見た時に、私は日本にはこういう絵本がないかと思っただけです◆その頃、岩波書店が「岩波の子どもの本」というシリーズで物語絵本をお出しになったんです。その中の一つ

「こどものとも」で育む豊かな心と生きる力  
外国の絵本を翻訳して出版しなければ……



バーニア・リー・ハートズ・ゼン  
石井桃子訳/1954年  
岩波書店刊

が「ちびくろさんぼ」。  
1953年の12月かな。  
そして、1954年の4月、第2次の出版として出た中に『ちいさいおうち』があったん

## 社会・思想史を見事に表現

◆たまたま私は、アメリカ史もやっていたんですから、この本を見た途端に「あ、この本の中には、19世紀から20世紀の前半にかけてのアメリカの社会史と思想史が見事に描かれている」と思いました

◆しかも、テーマは時間ですから、歴史的な時間。目に見えない時間、こんなに目に見えるように描いてある。子どもでも分かるように描いてある。一体、これはどういう人だと思っただけなら「バーニア・リー・ハートズ」。お父さんは、初代のマサチューセッツ工科大学の学長さんだった。すごい家庭に育っているんですね。科学的なこととかに対するセンスってというのは……◆また、アメリカでは、田園で平和な生活をするとというのが、アメリカの建国以来の理想なんです。それが見事に描いてあって、アメリカの思想史のエッセンスがここに描いてある。こういうのを見た時にびっくりしたんです、私は。



## 家庭に本が入る文化

◆そこで、私は本格的な物語絵本を作ろうというふうな決めて、「こどものとも」という月刊の物語絵本を創刊したんです。月刊で出したってことが日本的です。その頃、月刊で絵本が出ている国というのは、チェコスロバキアとイランだったんです◆日本では、月刊で絵本を出すってことは、1922年以来あるんですね。1927年の『キンダーブック』というのが、日本の家庭に絵本を普及するという最大の功績を果たしています。当初、幼稚園や本屋さんで売ろうとしたら売れなかったんですから、直接幼稚園や保育園を通して家庭に本を届けるといった「直販方式」を作ったんです。それで、日本では、家庭に本が入るといいう、まだ図書館なんか入らない時代ですよ。本が入るといいう文化が

## 戦争の影すらない絵本

◆その頃、『はなのすきなうし』っていう本を見て、発行年代を見た時に1936年です。1936年というのは、スペイン戦争の最中ですね。スペインを舞台にした反戦平和の物語を出してるんです、アメリカで。これも大変なことですよ◆『ちいさいおうち』が1942年です。太平洋戦争の真っ最中、第2次世界大戦の真っ最中に、アメリカでは、戦争の影すらない絵本を作ったんです。すよ。私は、それも驚いたんです。

(つづく)



マンロー・リーフ 著  
ロバート・ローソン 絵  
1954年/岩波書店刊